

居住地校交流

今年度は、小学部生15名、中学部生14名、計29名が地域の小・中学校で居住地校交流を行いました。交流を重ねることにより、お互いに自然に関わり、よい学びの機会となっています。



湊城西小学校1年 生活科



能代南中学校 地域交流会



第五小学校5年 音楽



能代第二中学校 二中若

二ツ井小学校との居住地校交流は、オンラインで実施しました。初の試みでしたが、大きな画面を通して、クイズを楽しみました。



二ツ井小学校 学級活動

居住地校交流の感想より

- 久しぶりに友達に会えて、とてもうれしかったです。来年も交流したいです。〔本校生徒〕
- 子どもたち同士で、一緒に（活動を）しているのが、よかった。〔本校児童保護者〕
- 積み重ねてきたから、名前呼び合っているのがいいなと感じる。安心して見ていられた。名前でもらうことで、子どもたち同士で活動していた。〔本校児童保護者〕



【今年度の居住地校交流 実施校（15校 30回 29人）】

小学校：湊城西小学校、湊城南小学校、第四小学校、第五小学校、向能代小学校、二ツ井小学校、藤里小学校、湖北小学校、峰浜小学校、
中学校：能代第一中学校、能代第二中学校、東雲中学校、能代南中学校、二ツ井中学校
山本中学校

～ありがとうございました～

障害理解授業

今年度は、小学校5校8回、中学校2校2回、高等学校1校1回、しらかみ看護学校1回の障害理解授業を行いました。小学校の低学年、高学年、中学校、高等学校それぞれの段階に合わせて、テーマを設け、障害について学習する機会となりました。

- ・小学校（低学年）：地域に障害がある人が暮らしていることを知る
- ・小学校（高学年）：相手を思いやり、違いを認め合う大切さを知る
- ・中学校：外見から分かりにくい障害があることに気付く
- ・高等学校：障害に対する正しい知識を知り、互いに認め合う大切さを理解する

【障害理解授業 実施校（小学校5校8回 中学校2校2回）】

小学校：湊城西小学校1年、3年
第四小学校4年
向能代小学校4年（2回）
二ツ井小学校1年、6年
藤里小学校5年
中学校：能代南中学校2、3年（合同）
東雲中学校1年



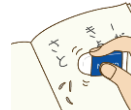
昨年度に比べ、
実施校が増えました。

ちょこっと支援

今回のちょこっと支援では、指先の動き「つまみ」についてご紹介します。

◎つまみをうながす

日常生活には、つまむ動作がたくさん含まれています。つまむ動きの様子を見て、実態把握をしたり、スムーズに道具を使えるように動きを確認したりしましょう。



《つまみをうながすトレーニング》

- ・セロハンテープの活用…セロハンテープの先をしっかりとつまみ、引っ張ってテープを切り取る。丸めた新聞紙にテープをはることで、握りとつまみの練習になります。
- ・シールの活用…さまざまなサイズのシールを台紙からはがして、紙に貼り付ける。つまみに欠かせない親指の動きを養う。

握ったりつまんだりする動きが難しい場合は、手首の動きも確認してみましょう。手首が下がっているようであれば、手首を起こすように支援してあげましょう。

◆参考文献 「発達障害のある高校生・大学生のための上手な体・手指の使い方」より

秋田県立能代支援学校

教頭 佐藤 圭吾 教育専門監 渡部 陽子 地域支援部主任 船山 真生

TEL 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681

ホームページ <https://noshiroshien.ed.jp>

Email noshiro-s@akita-pref.ed.jp